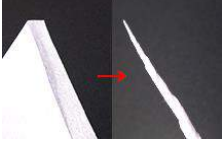









症状	No	主な原因	説明
ノックしても芯がでてこない	1	芯を入れ過ぎている	芯の補充は、2~3本以内に留めてください。 芯を入れ過ぎると、芯タンクの中で芯同士が干渉しあうため、動きにくくなり芯が出てこなくなる場合があります。
	2	芯が入っていない	芯を入れてください。
	3	芯の太さが合っていない(太い芯を入れている)	正しい太さの芯を入れてください。 例)0.3mm径のシャープペンシル本体に0.5mmのシャープ芯を入れてノックしても芯は繰り出されません。
	4	芯詰まり(ガイドパイプ、チャック部)	本体付属の字消しについてのクリーナーピンで、詰まっている芯を除去してください。 ガイドパイプやチャック部に短く折れた芯が詰まっている場合、芯の繰り出し動作に干渉してしまうため、芯が出てこないことがあります。 (芯をペン先端側から補充すると、芯詰まりの要因となります。芯を補充する際は、ペン後端側のプッシュボタンを外して字消しを取ってから、芯を1本ずつ補充してください。) ※口金の内部には「芯戻り止め」という小さなゴム部品が入っています。 口金内部の芯詰まり除去を行なう際には、この「芯戻り止め」が外れないようご注意ください。 芯戻り止めが外れた場合、芯を保持できなくなるため、ノックすると芯が抜け落ちてしまいます。
		【クリーナーピンでの詰まった芯の除去方法】 (1)本体付属の字消しについてのクリーナーピンを用意 (2)ガイドパイプ部分の清掃を行ってください(※1)	(1)  (2)   (※1) (2)の工程を行う際、「芯戻り止め」部品が外れないようご注意ください
	(3)チャック部分の清掃を行ってください (チャックを開き、詰まった芯などを取り除いてください)	(3) 	
	説明:チャックの開け方(チャック部先端のリングの下ろし方) (1)芯が出てくる部分を天井に向けプッシュボタンを机などに押し付けます。 (チャック部(芯の保持部)がせり上がってきます。) (2)チャック部先端のリングを爪先でそととひきおろします。 (3)チャックが開いた状態になりました	(1)  (2)  (3) 	
	5	ガイドパイプの曲がり、折れ、脱落 ガイドパイプの先端面の潰れ	口金を交換してください。(※2) シャープペンシル本体を落としたり、先端部分に衝撃が加わると、先端のガイドパイプが曲がったり潰れたりし、芯が出てこなくなる場合がありますのでお取り扱いにご確認ください。  ガイドパイプ曲がり  ガイドパイプ先端面の潰れ

(※2)修理対象外品番や廃番品等、製品によっては、口金交換できないものもあります。詳しくは弊社ホームページよりご確認ください。
([こちらをクリックすると該当ページへリンクいたします。](#))

症状	No	主な原因	説明
芯が折れやすい または、芯が折れて出てくる	1	口金が緩んでいる	口金を回し、締めてください。 口金が緩んでいると、ぐらつき、口金内部で芯が折れてしまう場合がありますので、しっかり締めてご使用ください。
	2	芯を出しすぎている	芯を出し過ぎると、芯が折れやすくなります。 特に0.3mmの芯は細いため、出しすぎると折れやすくなります。
	3	ガイドパイプの曲がり	口金を交換してください。(※1) シャープペンシル本体を落としたり、先端部分に衝撃が加わると、先端のガイドパイプが曲がったり折れたりし、芯が折れやすくなる場合がありますので、お取り扱いには十分ご注意ください。

(※1)修理対象外品番や廃番品等、製品によっては、口金交換できないものもあります。詳しくは弊社ホームページよりご確認ください。
([こちらをクリックすると該当ページへリンクいたします。](#))

症状	No	主な原因	説明
筆記中、芯が引っこんでしまう	1	チャック部に芯の粉が付着している	チャック部を清掃してください。 芯を送り出し固定する「チャック部」に、芯の粉が付着すると芯が滑りやすくなるため、筆記時に芯が引っこんでしまうことがあります。
		【チャック部清掃方法】 (1)ティッシュペーパーの端をよって、出来るだけ細い紙縫り(こより)を作ります。 (2)口金部を回して、取り外します。	(1)  (2) 
		(3) 芯が出てくる部分を天井に向け、プッシュボタンを机などに押し付けます。 (チャック部(芯の保持部)がせり上がってきます。) (4)チャック部先端のリングを爪先でそっとひきおろします。 (チャックが開いて芯が芯タンク内に戻ります。)	(3)  (4)   ・チャックが開いた状態
		(5)開いたチャック内に、1で作った紙縫り(こより)を差込み、プッシュボタンをゆっくり戻します。 (6)紙縫り(こより)を引き抜きます。 紙縫り(こより)にチャック内の芯粉が付いてきます。	(5)  (6)  
		(7) 芯粉が付着しなくなるまで(3)~(6)を繰り返ししてください。 (8)口金を元に戻し、芯を出して筆記してください。	
	2	芯が短くなってチャックにかからなくなっている	短くなった芯を取りだし、新たに芯を補充してください。 芯が短くなると、芯を送り出し固定する「チャック部」が芯を保持できなくなるため、筆記時に芯が引っ込んでしまいます。

症状	No	主な原因	説明
ノック時、芯が長く出してしまう (芯が抜け落ちてしまう)	1	「芯戻り止め」部品の外れ	 <p>口金を交換してください。(※1)</p> <p>口金の内部には、「芯戻り止め」という小さなゴム部品が入っております。これは、芯を送り出し固定するチャック部が、芯を解放した際に、芯の落下を防ぐためです。</p> <p>芯をペン先端側から補充した場合や、字消しについているクリーナーピンで芯詰まり等を除去する際に、この芯戻り止めが外れてしまう場合があります。このようになると、芯を固定できなくなるため、ノックしても芯が抜け落ちてしまいます。</p> <p>※芯を補充する際はペン後端側のプッシュノックボタンを外して字消しを取ってから、芯を1本ずつ補充してください。 ※芯詰まり除去作業を行う際は、「芯戻り止め」が外れないようご注意ください。</p>
	2	芯の太さが合っていない(細い芯を入れている)	正しい太さの芯を入れてください。 例)0.5mm径のシャープペンシル本体に0.3mmのシャープ芯を入れてノックすると、芯は抜け落ちてしまいます。

(※1) 修理対象外品番や廃番品等、製品によっては、口金交換できないものもあります。詳しくは弊社ホームページよりご確認ください。
([こちらをクリックすると該当ページへリンクいたします。](#))